

# ②【複数年度(1年目)】グリーンスローモビリティの普及下における歩行者利便増進道路制度に関する社会実験(福島県会津若松市)

## 1. 実験概要、留意すべき項目

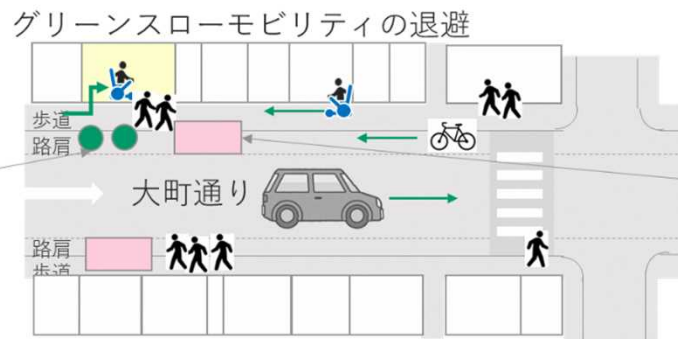
- 歩行者利便増進道路制度の活用を検討している路線で電動車椅子等のモビリティの安全性等を検証する。
- 今後、これらのモビリティが普及していくことが予想されることから、当該検証で得られたデータにてバリアフリー施策を検討できる取組みとなること。

## 2. 今年度の調査内容、調査結果

- ① 冬季道路事前調査内容(道路環境調査)  
⇒道路の積雪状況を目視確認および歩行し、安全な歩行が可能かを定性評価
- ② 冬季道路事前調査内容(車椅子走行環境)  
⇒冬季の積雪、凍結した歩道で安全な車椅子走行が可能かを検証



オープンカフェやベンチ  
苗木の配置



当該地域(大町通り)での実験イメージ



キッチンカー



積雪や路側帯積雪や路側帯など段差がある場合の回避や走行性能の確認(写真上)  
歩道において安全なすれ違いが可能な幅員の検証(写真下)

## 3. 次年度の社会実験に向けて

### 実験メニュー

人を中心とした回遊しやすいウォークアブルな道路空間づくり

歩行補助モビリティの導入

民地と道路空間の活用

### 実験内容

通過交通車両の減速措置と歩行者とモビリティが安全で快適に移動や滞在できる歩行空間を創出

電動車椅子(グリーンスローモビリティ)の活用により、高齢者・障害者等が歩ける歩行空間の創出

実験開始前につき、実験終了後に記載予定

## ②【複数年度(1年目)】グリーンスローモビリティの普及下における歩行者利便増進道路制度に関する社会実験(福島県会津若松市)

### 4. 今後のスケジュール

- 令和5年4月～6月 : 自動車交通量の異なる複数の時間帯にて自動車の速度調査
- 令和5年6月～8月 : 電動車椅子の走行に関する利便性のアンケート調査
- 令和5年8月～10月 : キッチンカー、オープンカフェ、ベンチ等を設置
- 令和5年10月～11月 : 集計分析

### 5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
高齢者ドライバーなど様々な懸案が考えられるため、実証実験の成功のためにも、安全対策を熟慮いただきたい。	実証内容と安全対策案を具体的に整理したうえで、詳細協議する。
積極的に「歩行者利便増進道路制度」の活用を検討されたい。	実証実験の分析、成果を共有し、将来的な制度活用を目指して継続協議していく。
歩行者天国のような車の通行を完全に止めることは沿道店舗の営業や生活に支障が出る懸念があり、十分な調整が必要。	道路を完全通行止めにはしない方法で実証実験を進める。周辺商店には個別に説明し理解を頂きながら実施していきたい。

### 6. 評価

- 順調に実験が進んでいる。
- 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。